

村上一真(ムラカミ カズマ)

役職・学位: 准教授・博士(学術)

専門分野: 環境経済学, 開発経済学, 社会心理学, 地域経済・政策論



職歴: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株), (財)アジア太平洋研究所(APIR)

担当科目: 経済学Ⅱ(マクロ経済学), 応用統計学Ⅱ(多変量解析), 環境財政, 資源循環と国際貿易(大学院) など

教育方針:

- ・民間シンクタンクでの経験を活かし、「理論」と「実証」に加え、現実の問題やその処方箋、現実での理論の使われ方や限界などの「実践」と関連付けた教育を目指します。
- ・現実の問題解決に向けた、総合的・多面的な観点に基づいて考えることができる能力形成に資する教育を目指します。
- ・社会において有用な実践的かつ専門的な能力形成に資する教育を目指します。

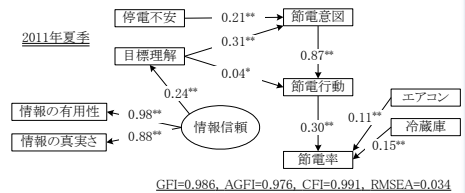
研究活動:

- ・マクロ(社会)とミクロ(個人)の関係性に問題関心を有し、マクロな制度・しくみが組織・個人の能力水準や意識・行動様式に及ぼす影響の把握・解明に関する研究を行っています。
- ・理論・実証・実践がつながる研究を目指しています。(※研究実績は[こちら](#))

■ 2013-14年度の研究動向: プロジェクト(外部資金)ベースで、以下のような研究を進めています。

### 研究テーマ①: 個人の環境配慮行動の意思決定プロセスに関する研究

- ・社会心理学での研究成果を踏まえつつ、経済学の問題関心や分析手法を用い、個人の環境配慮行動の意思決定プロセス解明の研究を進めています。
- ・具体的には**森林環境税・森林ボランティア**関連(行政への信頼/制度導入手続き/地域への愛着などが制度受容に与える影響, ボランティアの参画要因)と、**節電**関連(目標認知度/停電恐怖/社会・個人便益認知/電力会社への信頼/社会的規範などが節電率に与える影響)を対象に行っています。
- ・プロジェクト: 平成25-27年度科学研究費(研究代表者)「家庭での節電行動の意思決定および節電効果に影響を与える要因解明の実証研究」



### 研究テーマ②: サプライチェーンを通じた環境経営の移転・普及に関する研究

- ・サプライチェーン全体を対象とした、CO<sub>2</sub>削減や廃棄物削減を含めた環境全般に配慮した企業経営が急務であり、取引先への環境配慮要請による環境経営の普及や環境負荷低減の現状・課題の把握とその課題解決のための方策を検討しています。
- ・具体的には**国内食品製造業, 日系製造業の海外子会社(ベトナム, タイ, マレーシアなど)**を対象とした研究を行っています。
- ・プロジェクト: 平成24-26年度科学研究費(研究分担者)「多国籍企業における環境経営と国内・海外サプライヤーへの波及に関する研究」, 平成24年度アサヒビール学術振興財団助成(研究代表者)「サプライチェーンを通じた環境経営の移転・普及メカニズムに関する研究」 (※論文は[こちら](#))



### 研究テーマ③: 企業の震災対応に関する研究

- ・東日本大震災からの復興, および南海トラフ巨大地震を想定した企業の防災・減災体制およびBCP(Business Continuity Plan), BCM(Business Continuity Management)に関する調査を進めています。
- ・具体的には、サプライチェーンを主な対象とした企業の防災・減災体制およびBCPの現状, 課題, 対応方策などを研究しています。
- ・プロジェクト: 経済団体委託調査, および2013年度APIR委託調査(研究代表者)「グリーン&レジリエントなサプライチェーン構築に関する研究」 (※報告書は[こちら](#))

### 研究テーマ④: 実践的な環境政策・ビジネス振興に係る研究

- ・関西ならびに滋賀の**持続可能な発展(Sustainable Development)**に向け、環境ビジネス・産業, 省エネ・創エネ・畜エネ推進などの調査を進めています。
- ・具体的には、**太陽電池**や**リチウムイオン電池**産業の現状・課題・今後の方策, **省エネ**の現状・課題・今後の見通しなどの検討を行っています。
- ・プロジェクト: 行政委託調査, およびAPIR研究員(～2013年度)としての活動 (※活動実績は[こちら](#))

### 研究テーマ⑤: 社会的能力論をベースにした温暖化防止/国際環境協力/持続可能な地域づくりの研究

- ・**社会的能力**(行政・企業・市民社会の3つのアクターおよびそれらの相互関係からなる社会全体の総体的な能力)という分析/政策ツールを用い、新興国での**公害・温暖化対策**や**国際環境協力**, 国内の**農林・山村地域**などでの**協働に基づく持続可能な地域**のあり方に係る研究を、制度, ガバナンス, 社会的共通資本, social capital, 信頼などの関係性を考察しながら進めています。
- ・プロジェクト: 他大学との共同研究